

建築主：株式会社和郷
 設計：有限会社ドス・パートナーシップ
 施工：阿部建設株式会社
 株式会社石毛ハウジング
 所在地：香取市西田部1309-29

ほどよい田舎感が魅力

THE FARM -AGRIZM PARK CHIBA KATORI-



列柱が、道を隔てた2棟の建物を一体的に見せ、差し込む光の陰影がファサードの表情を豊かにしている(インフォメーションセンター) (撮影/清水 尚志)

よく手入れされた農園が広がっていて、思わず胸いっぱい土の匂いを吸い込みたくなる。500区画ほどの貸し農園を囲む杉木立に寄り添うように、畑土色の14棟のコテージが並んでいる。箱形のコテージで、畑に向かって大きなテラスを差し出し、開放的な構えだ。コテージも隣接するクラブハウスもどこか都会的な洗練されたデザインである。それでいて、地元の杉がふんだんに用いられ、自然に抱かれてほっとする。

THE FARM AGRIZM は、香取市旧栗源町の約15haの耕作放棄地を活用し、農水省農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を受けて、施設をていねいに増やしてきている。以前からあった日帰り入浴施設を、地元農事組合が2010年「かりんの湯」として引き継ぎ、隣接してTHE FARMインフォメーションを設けた。インフォメーション内のスツールは杉の丸太を削りだしたものでひとつひとつ表情が違う。2013年にはカフェ棟が加わった。

これら入浴・飲食施設の集まるあたりから、広々とした畑の真ん中を250mほ

ど歩いていくと、畑の先に2012年に整備された前述のコテージとクラブハウスがある。

農園區画は個人会員用に5坪と10坪の2種だ。計画段階で、企業から保養と食育研修を兼ねた利用方法を提案され、現在複数の法人会員が各300坪ほどの農園を借りているという。首都圏からのアクセスがよく、周辺には複数のゴルフ場がある。ゴルフ場など自然を傷つけて開発されたレジャーを食った時代から、お手軽な田舎に癒される週末を求めるように人々の趣向は変わってきている。THE FARM AGRIZM の農園ランドスケープと調和した建物群のデザインは、いまどき都会人の求めるほどよい田舎を感じさせてくれる。

(岡部 明子)



畑から生える畑土色の建築群
 (貸農園・クラブハウス・宿泊棟)



大開口からあふれる里山のあかりと
 メッセージパネル(インフォメーションセンター)
 (撮影/NARU建築写真事務所)